

2年3組「体育科」実践

報告者 内中原小 堀内 捺未

1. 単元名 「コロコロテニピンあそび」

2. 単元の目標

- (1) ボールをキャッチしたり、打ったりする基本的技能を身に付けるとともに、ボールをよく見て、動くことができる。(知識及び技能)
- (2) 上手にボールをキャッチしたり、打ったりすることができるよう、自分たちでコツを考えて伝え合う。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 積極的に仲間に関わろうとしたり、話合いで自分の気づいたことを伝えようとしていたりしている。(学びに向かう力、人間性等)

3. 基盤

4. 単元計画 (全5時間)

5. 授業の実際

(1) になりたい姿に向かう「基礎感覚や基本技能を高めていくための手立て」の追求

○授業ごとに活動の視点を絞る。「キャッチ名人になろう」「コロコロ名人になろう」

1, 2学年のボール遊びでは、投げることに重きを置きがちになっているため、キャッチと転がすことについて視点を絞った。まずはキャッチに視点を絞った学習をし、キャッチが上手になってから、ボールを転がすことをねらいとする単元構成にした。

① 「キャッチ名人になろう」

○いろいろなボールをキャッチしよう

低学年の段階でいろいろなボールに触れてほしいと考えて、3種類のボールを用意した。

用意したボールは、ソフトバレーボール、テニピンのボール、バウンドボールの3種類。3種類のボールを使って、バウンドさせてキャッチする運動を行った。児童はボールを真上に投げて、そのボールをペアで交代してキャッチすることに苦戦しながら反発のの違いを楽しんでいた。「どんなボールでも上手にキャッチするためにはどうすればいいかな?」と問うと、「ボールが落ちるところに早く入る。」という発言があった。テニピンにおいても「落下点に入る」ことが重要な要素として、つながりを感じた。

○「ペアで壁当てキャッチをしよう」

テニピンを意識し、「ペアで壁当てキャッチ」という運動を考えた。ボールを投げたら後ろのペアの人がキャッチし、それを時間内に交代しながら回数を増やすゲームである。ペアの交代をスムーズにすることが回数を増やすポイントであり、ボールを持っていない時の動きが大事である。子どもたちとの対話を通して、以下のことがポイントであることを共有した。

- ・ ペアの人が投げたら次はどこにボールがいくかよく見る。
- ・ 投げたらすぐよける。
- ・ ボールの正面に入ってキャッチする。

} (省略)

この3点はテニピンにおいて必要とされる力であり、この運動を通して、その素地を養うことができた。

② 「コロコロ名人になろう」

○コロコロドッジ

テニピンのボールを使って、円の中を範囲としてドッジボールをした。初めはなかなか当てにくく苦戦していた。そのとき子どもから「転がした先を予想してすぐ返せるようにする。」「サッと返して相手に隙をあたえない。」という意見が出た。初めのルールは教師から与えたものだったが、自分たちから「中の人ジャンプは最後の一人になったらありにしたらもっと面白くなる。」という意見もあり、独自のルールでゲームを楽しんだ。

○コロコロテニピン

実際にテニピンで使用するラケットを使って、コーンの間を転がした回数を競い合うゲームを行った。

2時間目、3時間目はどうしたらコロコロ名人になることができるか、ポイントを見つけた。「まっすぐ」「ゆっくり」を意識することでラリーの回数を増やすことができることがわかった。回数を記入する用紙を前に掲示することで、子どもたちも意識して授業に取り組んだ。「作戦を立てる→実践する」を繰り返すことで、子どもたちがたくさんアイデアを出し、ラリーの回数も増えた。



「ペアで壁当てキャッチ」の様子

素早く入れ替わることやキャッチすることを意識して取り組んでいた。



「コロコロドッジ」の様子

素早く返すことやよくボールを見ることを意識して楽しんでいた。



「コロコロテニピン」の様子

ラリーの回数を増やすことに対して一生懸命考えて、チームのみんなで作戦を立てていた。

6 . 成果 (○) と課題 (△)

○テニピンに繋がる予備運動を通してテニス型の領域を手軽に経験することができ、未経験だった多くの児童が運動の楽しさと喜びを感じることができた。最終日には、「まだやりたい。」「終わりなのがさみしい。」という声も聞くことができた。

○チームの記録や作戦を書くワークシートを用意したことで、ラリーの回数が増えるように意識してチームで話し合っ作戦を立てることができた。

△様々なボールに触れたことがよかったが、学校に今回使えそうなボールの種類が少なかった。用意をする必要がある。(例えば、ソフトバレーボール、メッシュのハイバウンドボール、ソフトテニスボール等)

チームの記録用に掲示した用紙

	1回目	2回目	3回目
1ばん			
2ばん			
3ばん			
4ばん			
5ばん			
6ばん			

チームの回数と作戦を書くワークシート

	1回目	2回目	3日目
回数			
作せん			